

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名	No. 620507	消防施設維持事業				主管課名	防災安全課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	近藤 友久				
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち									
		基本事業	消防の充実									
	(1)事業の概要											
	地区に設置している消火栓や街頭消火器の維持管理と無蓋となっている防火水槽の有蓋化、耐震性貯水槽の保守点検等						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							消火栓設置数		箇所			
							街頭消火器設置数		箇所			
							防火水槽の数		箇所			
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		消火栓・街頭消火器の維持管理、無蓋防火水槽の天板設置										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
初期消火活動が迅速にできる。						名 称		単 位				
						消防水利設置数		箇所				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
生命と財産を守る。						名 称		単 位				
						火災発生件数		件				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		箇所	590	624	624	624	624	624	624			
		箇所	163	166	163	163	163	163	166			
		箇所	150	150	150	150	150	150	150			
(6)の対象指標		人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700				
(7)の成果指標		箇所	753	758	758	758	758	758				
(8)の結果の成果指標		件	29	33	20	20	20	22				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	02
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	5,494	3,662	7,609	7,609	7,609	6,454				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	5,050	3,213	2,502	2,500	2,500	2,500				
	一般財源	千円	444	449	5,107	5,109	5,109	3,954				
人件費B		千円	754	952	952	952	952	952				
正職員従事時間×人数		時間×人	50×3	100×2	200×1	200×1	200×1	200×1				
正職員以外の人件費		千円	200	200	200	200	200	200				
その他費用C		千円	9									
トータルコストA+B+C		千円	6,257	4,614	8,561	8,561	8,561	7,406				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620507 消防施設維持事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		昭和23年		から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		地域の消防力の整備を目的に開始。		
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		変化していない 変化している		
		変化し地上立上り消火栓から地下式消火栓への転換 内容が要求されている。		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
					常備消防等の消火活動を補うこともできるため消火栓の設置要望がある。

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	→ →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	特になし 地域の消防力の充実を図るのは市の役割である。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	→	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	→ →	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	→ →	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	→	理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	→	理由 又は 内容	要望によるため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	→ →	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	→	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	→	内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	→ →	現状で適正 検討が必要	内容	
					受益者がいない	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等 の見直しなど	市内の消火設備の充足率を高めるため、消火栓が設置できるような口径の広い配管をしてもらうよう関係機関に働きかける。					